

令和元(2019)年度パイロット輸送の結果(速報)

令和元(2019)年度パイロット輸送案件概要

物流事業者 (※1)	荷主 (※1)	貨種	区間	輸送の概要	発地⇄着地 (※2)	
					輸送時期	日数
<u>東洋トランス</u>	マキタ	電動工具・部品 (リチウムイオン バッテリー含む)	発:富山 着:ビエルスコビャワ (ポーランド)	危険品輸送	9/5 - 9/21 (9/5 - 9/18)	16 (13)
日新	<u>日触物流</u>	アクリル系ポリマー	発:神戸 着:ラコブニーク (チェコ)	タンクコンテナによる 化学品輸送	9/15 - 10/6 ^(※3) (9/15 - 9/30)	21 ^(※3) (15)
<u>日本通運</u>	キトー 信越電装 他	自動車部品、 輸送容器 等	発:ハンブルク (ドイツ) 着:横浜	輸入混載貨物輸送	10/23 - 11/14 (10/27 - 11/14)	22 (18)

※1 下線は実証事業の応募事業者

※2 ()内は日本の港⇄ブレスト駅(ベラルーシ)間の日数

※3 荷主都合により貨物を保管したブジェク・ドルヌイ駅(ポーランド)までに要した日数

(参考)モスクワ以西の接続
ロシア⇄欧州方面間の輸送の際、
ブレスト(ベラルーシ)にて線路幅
が変更となるため積替えが生じる。

主要な検証項目

- 【コスト】 いずれも海上輸送比で1.5倍程度またはそれ以上。
(ただしボリュームディスカウントの可能性あり)
- 【手続き】 危険物の積込み方法に係る明確な基準が公表されておらず、
積出し港においてコンテナへの積込み直しが発生。
- 【輸送品質】 概ね良好であったが、一部貨物について、継続的な軽度の揺れや
突発的な衝撃が記録され、梱包に破れが生じた(貨物の損傷は無し)。
- 【リードタイム】 リードタイム、通関手続きについては、本パイロット輸送の範囲では、
大きな問題は確認されなかったが、引き続き検証が必要。

